

フォースタス博士の悲劇 (I)

クリストファー・マーロー 作
熊崎久子 訳

登場人物

コーラス		葡萄酒屋	
フォースタス博士		馬商人	
ワグナー	博士の弟子兼召し使い	御者	
ヴァルディズ		女将	
コーネリアス		善天使	
三人の学者たち		悪天使	
老人		ルシファー	
		メフィストフィレス	
ローマ法王エイドリアン		傲慢	} 七大罪
レイモンド	ハンガリア王	貪欲	
ブルーノー	対立する法王	嫉妬	
二人の枢機卿		憤怒	
リームズの大司教		大食	
カルロス五世	ドイツ皇帝	怠惰	
マルティノ	} ドイツ宮廷の廷臣	好色	
フレデリック			アレキサンダー大王
ベンヴェリオリオ			その妃
ベルゼバブ		ダリウス	ペルシャの王
サクソニー公爵		トロイのヘレン	
アンホルト公爵		二人のキュービッドたち	
アンホルト公爵夫人		その他複数の悪魔、司祭、	
ロビン	道化、旅館の馬丁	修道僧、修道士、兵士たち	
ディック		*二人の学生たち	

場所

ウイッテンベルヒ、ローマ、インスブルックの皇帝の宮廷、
アンホルト公爵の邸宅、及びその周辺の田園地帯

プロローグ

コーラス登場

コーラス　軍神マルスが勇猛なるカルタゴ軍と結び
 トラシヌスの戦野を進軍するとか、
 傾国の危機にある王宮で
 恋の戯れに興じるとか、
 あるいは傲岸不遜な行為をひけらかしたりすることで　5
 我らが詩神は天与の詩才を誇示しようとしているのではありません。
 皆様、我々がここに演じようとしておりますのは、幸運、不運、
 いずれにせよ、ありのままのフォースタスの運命のみでございます。
 皆様方のご辛抱とご理解をお願い致し、
 先ずは、フォースタスの生い立ちからお話し申し上げます。　10
 彼は身分卑しい両親のもとに生を受けました、
 ドイツのローダと呼ばれる町に生まれました。
 長じて、ウイッテンベルヒに出、
 その地で専ら親戚に養われました。
 スコラ学派の中でも精華著しいと称えられる　15
 神学において成果を大にし
 時を経ずして博士の称号に浴しました、
 神学における聖なる諸問題を論じるに当たっては
 同学の者すべてを凌駕するほどでありました、
 ところが、彼の自惚れはますます増長し、　20
 やがて、彼は蠅の翼を駆って分際を超えて天高く舞い上がり、
 遂に、蠅が溶け、天がこの不遜な人間の転落を図ったのです。
 何故ならば、彼は悪魔の技にのめりこみ
 今や学問の黄金の実りに飽食し、
 呪われるべき魔術を食ったのです。　25

彼にとって魔術ほど美味なるものはなく、
何ものにも優る神の祝福よりも魔術を好んでいるのです、
書齋に座っておりますのがその男であります。

第一幕、第一場

書齋のフォースタス

フォースタス 研究課題を決めろ、フォースタス、
そして、お前の専門とする分野の深奥を極め始めろ。
学位を得たからには、外見は聖職者らしく装え。
だが、あらゆる学芸において極限を目指し、
アリストテレスの著作に生き、かつ死ぬのだ。 5
素晴らしい分析学、私の魂はお前に奪われてしまった！
「巧みに論ずること、これ即ち論理学の目的なり」
巧みに論じることが論理学の主要な目的だということか？
この学問にはそれ以上の奇蹟を齎すことはないのか？
であれば、これ以上読む必要はない、奥義は極めてしまった。 10
もっと偉大な課題がフォースタスの頭脳には相応しいのだ！
「存在と非存在」にはさらばだ、ガレンよ、来れ。
「哲学者が辞する処より医学者が始める」か、
医者になれ、フォースタスよ、黄金を山と積み上げよ、
恐るべき治癒を施し、お前の名を不滅のものとなせよ。 15
「医術の最高なるものは健康なり。」
医学の目的は我々の肉体の健全だ。
ならば、フォースタス、お前は目的を達しているのではないか？
お前の語る日常語が金言警句となっているのではないか？
お前の処方箋は記念碑として掲げられているのではないか、 20
それによって多くの市が疫病から逃れられ、
何千もの瀕死の病人たちが癒されたのではないか？
にもかかわらず、お前は依然としてフォースタス、一人の人間でしかない。
もし、お前が人間を永遠に生かしておくことが出来、
また、死んだ人間を再び蘇らせることが出来るなら、 25

ならば、医学は高く評価されよう。

医学よ、さらばだ！ユスティニアヌスはどこだ？

「一つの物、二人の人間に遺贈された場合、一方はその物を得、
他方はその等価を得る…」 [読む]

くだらない遺産相続訴訟だ！

30

「父は以下のいずれかの条件を除き、子の相続権を廃することあたわず…」
[読む]

こういったところが法律原論の主題なのだ

そして法律というものの全容なのだ。

こんな学問は報酬目当ての

見せ掛けだけのがらくたを狙っている奴にこそ相応しいのだ、

35

私にとっては下品で卑し過ぎる。

すべての学問を修めてしまった今、神学こそが最高だ。

『ヒエロニムスの聖典』だ、フォースタス、精読せよ。

「罪の支払う報酬は死なり」何と！「罪の支払う報酬…」か。 [読む]
罪の報いは死。これは厳しい。

40

「もしも自らに罪無しと言うならば、自らを欺き、

真理は我らの内になし」 [読む]

もしも我らが自らに罪なしというならば、我らは自らを欺くことになり、
我らの内に真実はないことになる。

そこで、我らは罪を犯さねばならず、

45

その結果死ななければならなくなる。

然り、我々は永遠の死を死なねばならぬのだ。

この教義を何と呼べばよいのか？ ケ セラ、セラ、

なるように、なる！ 神学よ、さらば！

これら魔法使いの形而上学

50

降霊術の書物こそ神々しい。

線、円、記号、文字、そして符号――

そうだ、これこそフォースタスが望んで止まぬものだ。

おお、何という利益と喜び

権力、名誉、全能の世界が

55

研鑽を重ねるものに約束されていることか！

もの言わぬ両極の間に動くすべてのものは

私の意のままだ。皇帝も王たちも
 それぞれの領土を従わせているに過ぎず、
 風を起こし、雲を裂くことは出来ない、
 だが、この術に秀でた者の支配圏は
 人間の知力の及ぶ限り広がっていく。
 魔術を極めた者は半ば神なのだ。
 脳髓を絞り、この術を習得し、神になるのだ！
 ワグナー！

60

ワグナー登場

私の親友たち、
 ドイツ人のヴァルデイス君とコーネリアス君に
 私のところへ来てくれるよう真摯にお願いしてくれ。
 ワグナー　かしこまりました。

65

[退場]

フォースタス　彼らの意見を聞かせてもらえれば大いに助かる
 私が一人でどんなに骨を折っても、それ程早く進めるものではないからな。 70

善天使と悪天使登場

善天使　おお、フォースタス、その呪われた書物を捨てよ、
 その本に目を向けてはならぬ、その本はお前の魂を誘い、
 お前の頭上に神の激しい怒りを下させることになろう。
 読むのだ、読むのだ、聖書だけを。その本は神を冒瀆する書だ。
 悪天使　進むのだ、フォースタス、その誉れ高い術の中へ
 その中にこそ大自然の宝が蔵されているのだ。
 神ヨブが天にあられる如く、お前は地にあって、
 四大元素の主となり、命令者となれ。

75

[両天使退場]

フォースタス　この途方もない考えに私の心は何と満ち溢れていることか！
 精霊たちに私の望むものを持って来させ、
 あらゆる曖昧模糊たる問題を解かせ、

80

実現不能とみえた私の企てを成し遂げさせようか？
 精霊たちをインドへ飛ばせ、黄金を探させ、
 大海の底深く浚ってきらめく真珠を採らせよう、
 そして新たに発見された世界の隅々まで探らせ
 85
 美味なる果実、王者の佳肴を持って来させよう。
 未知なる哲学の書を解説させ
 あらゆる異国の王たちの秘め事を語らせよう、
 全ドイツを黄金の城壁で囲ませ
 ライン河の急流が美しいウイッテンベルヒを巡るようにさせよう。
 90
 あらゆる大学を絹で満たし
 学生たちを豪華に装わせよう。
 精霊たちに持って来させた金貨をもって兵を募り
 パルマ公をわが国土から追放し
 95
 唯一の王として全国土を統治しよう。
 そうだ、戦闘の矛先となる何か新しい武器、
 アントワープの橋を破壊したあの火炎船よりも強力なものを
 私の奴隷たる精霊たちに考案させよう。
 入ってくれ、ドイツのヴァルディス君、コーネリアス君、
 [内に向かって呼び掛ける]
 君たちの賢明な意見をもって私を啓発して欲しい！
 100

ヴァルディスとコーネリアス登場

ヴァルディス君、親愛なヴァルディス君、コーネリアス君、
 君たちの言葉に私も遂に魅せられ
 魔術と秘術を実践してみることにした。
 しかし、君たちの言葉の故ばかりではなく、私自身の幻を追う
 心にもよるのだが、
 私の頭は降霊術に思いをめぐらす以外には
 105
 何の目的ももてないのだ。
 哲学は厭わしく曖昧模糊たるものだし、
 法学や医学は知恵浅き者のためのもの、
 神学はこれら三つの中で最も卑しく、

不愉快で粗野、軽蔑すべき下劣なものだ。 110

魔術だ、魔術だ、魔術が私の心を奪ってしまったのだ。

そこで、心優しい友たちよ、私のこの企てに力を貸して頂きたいのだ、
私は、明晰な三段論法で

ドイツ教会の司祭たちを唾然とさせ、

また、詩人ムサイオスが地獄へ下った際に 115

地獄の亡霊たちが群がり集まった如くに

ウィッテンベルヒの俊才たちを私の論旨に群がらせました、

その私が、死者の中から霊を呼び起こし、

全ヨーロッパから称賛を得たというアグリッパの如き術者になりたいのだ。

ヴァルディス　　フォースタス君、これらの書物、君の才知、そして

我々の経験をもってすれば 120

世界中の国々に我々を神聖視させることになりましょう。

アメリカのインディアンがスペイン人の主に従うのと同様に、

四大元素のそれぞれを

常に我々三人に仕えさせましょう。

ライオンのように我々を護らせ、 125

長槍をもったドイツの槍騎兵

あるいはラップランドの巨人のように我々の周囲を駆け巡らせましょう、

時には既婚の女性の如く、あるいは未婚の乙女となって、

愛の女王の白い乳房にも優る美しさを

靈妙な面に漂わせてもくれましょう。 130

ヴェニスからは巨大な大商船隊を

アメリカからは、老いたるフィリップ王の宝庫を年毎に増やす

黄金の羊毛を運ばせましょう。

博学なフォースタス君が決意されるならばのことですが。

フォースタス　　ヴァルディス君、このことについての私の決意は 135

君の生命に対する意志と同様揺るぎないものだ。それ故反対はしないで

欲しい。

コーネリアス　　魔術が行う奇跡は

他の何ものも学びたくないとおなたに誓わせるでしょう。

占星術の基礎を修め、

言語の才豊かで、鉱物に精通する者は、 140

魔術が必要とする基礎知識をすべて備えているのです。

ですから、フォースタス君、疑いもなく、あなたは名声を手にし

かつてデルフィスの神託を受けようと集まった

人々以上に多数の者たちが

あなたの秘術を見ようと参集するでしょう。

145

精霊の語るところによれば、彼らは海を干上がらせ

あらゆる外国の難破船から財宝を取って来るばかりか、

我々の祖先が大地の腸はらわたの中に秘蔵した財産のすべてをもたらすことも

できるといふ。

とすれば、フォースタス君、我々三人の手に入らぬものなど

ありましようか？

フォースタス 何もない、コーネリアス君、おお、魂が沸き立つようだ！ 150

さあ、実際に何か魔術を行ってみてくれ、

私自身もどこか深い木立の中で術を試し

その喜びが我がものであることを味わって見たいのだ。

ヴァルディス では、どこか人気のない森へ急いで下さい、

賢者ベイコンとアルベルトウスの著書、

155

ヘブライ語の『詩篇』と『新約聖書』をもって行って下さい。

その他必要なことは

この相談が終わる前にお伝えしましょう。

コーネリアス ヴァルディス君、初めに呪文を教えてあげましょう、

それから、他のすべての儀式を学べば、

160

フォースタス君は一人で術をかけることができるでしょう。

ヴァルディス 先ず最初に、私が基本を教えましょう、

そうすればあなたは私よりも巧みな術者になるでしょう。

フォースタス では、私と食事を共にしてくれ、食後に

詳細に互って討議することにしよう、

165

就寝前にどんなことが出来るか試してみたい。

今夜私は魔術を使う、そのために生命を失うことになろうとも。

[全員退場]

第一幕、第二場

二人の学生登場

第一の学生　フォースタスは一体どうしたのだろう、「我斯く証明す」で学校中を沸き立たせていたのに。

ワグナー登場

第二の学生　それはすぐに分かるよ、彼の召し使いがやって来たから。

第一の学生　やあ、君！ 君のご主人はどこだい？

ワグナー　天におられる神様をご存じですよ。

5

第二の学生　じゃあ、君は知らないのだね？

ワグナー　いいえ、知っていますよ、神様をご存じということ、

即ち私が知らないということにはならないでしょう。

第一の学生　何だって！ 冗談は止めて彼がどこにいるか教えてくれよ。

ワグナー　論理によってもそういう具合になりませんよ、学位をお取りになろうというお方のおっしゃることとも思えませんね、ですから、あなた方の過ちを認め、以後気を付けることです。

10

第二の学生　では、君は教えてくれないつもりだね。

ワグナー　あなた方は誤解していますよ、お教えするつもりなのですから。

あなた方が劣等生でないなら、そんな質問はなさらないでしょうに。

あの方は「自然の肉体」をもっていないませんか、「動く人間」ではないの

15

ですか？ とすれば、あなた方は何故あのような質問をなさるんですか？

私は生まれながら粘液質で、腹を立てるのが遅く、好色なところもあります

—恋をし易いとでも言いましょうか—まあ、あなた方は処刑場から

40フィート以内には立ち入らない方がいいでしょう、もっとも、

次の学期にはあなた方の処遇が宙に浮くことは明らかだと思いますよ。

そんな具合にあなた方をやつけておいて、私は清教徒宜しい顔付きをして

話を始めることにしましょう、真実をもって、親愛なる兄弟たちに

申し上げましょう、20

ご主人様はヴァルディス、コーネリアス両氏と共に屋内にて食事までございます、この葡萄酒にものを言う力があれば、この葡萄酒が両兄にお伝えしたでしょう。

では、我らの主がお二人に祝福を垂れ、お二人を加護し、生命永らえさせ給わんことを、親愛なる兄弟たちよ、さらばです。

[退場]

第一の学生　　おお、フォースタス、では長い間案じていた通りになってしまったのか。25

あなたは遂に呪われた魔術の虜になってしまったのか

あの二人は魔術に関しては世間に悪名を馳せている人物だ。

第二の学生　　たとえフォースタスが見も知らぬ他人で、自分にかかわりがな
いとしても、

その魂に危険が迫っていると知れば、私も悲しむことになるだろう。

さあ、学長のところへ行って、このことを知らせよう。30

学長の真摯な説諭を聞けば彼も考えを改めるかもしれない。

第一の学生　　今となっては何ものも彼の心を変えることは出来ないのではな
いか。

第二の学生　　それでも我々に出来ることを考えてみようじゃないか。

[二人退場]

第一幕、第三場

雷鳴。ルシファーと四悪魔 [二階舞台] に登場

フォースタス登場し、呪文を唱える

フォースタス　　今や、暗黒の夜の陰が
オリオン星座の濡れた顔を見ようと
南極の世界から天空へと飛びたち
暗黒の吐息を吐いて世界を曇らせている、
さあ、フォースタス、お前の呪文を唱えるがいい、5
お前が祈りを捧げ、犠牲を供えたのを見て
悪魔たちがお前の命令に従うかどうか試してみるがよい、
この円の中にはエホバの名が書かれている、
前後に綴りを書き換えたものだ、
縮めて書いた聖人たちの名、10
大空に鏤められた星たちの形象、
十二宮や遊星の姿、
これらによって精霊たちは現れずにはいられなくなるのだ。
それ故、フォースタスよ、恐れることなく決然と行え、

魔術のなし得る最高のものを試みよ。

[雷鳴] 15

「冥界の神々よ、我に恵みを垂れ給まえ！

三位一体のエホバを去らせ給まえ。

火と風と水の精霊に栄光あれ。東方の君主ルシファーよ、業火燃える地獄の王ベルゼバブよ、デモゴーンよ、願わくはメフィストフィレスを現しめ給まえ。何故にかくも遅れるのか？ エホバ、地獄、そして今、我が撒きし聖なる水、我が描きし十字の印にかけて、またわが誓いにかけて、直ちにメフィストフィレスを我が前に現わしめよ。」 20

メフィストフィレス（悪魔）登場

命令だ、戻って姿を変えて参れ。

私に仕えるには醜く過ぎる。

戻って、フランシスコ派の老修道士の姿になって来い、 25

聖職者の姿が悪魔には一番似合うからな。

[悪魔退場]

私の聖なる言葉には効力があるらしい。

魔術の熟達を望まぬ者がどこにいるというのだ？

このメフィストフィレスという奴は何と素直な奴、

ひたすらの服従と謙虚そのものだ。 30

これこそ魔術と私の呪文の力によるものだ。

さあ、フォースタスよ、お前は桂冠魔術師というところだ。

偉大なメフィストフィレスに命令ができるのだから。

「戻れ、メフィストフィレス、修道士の姿となって。」

フランシスコ修道士の姿でメフィストフィレス登場

メフィストフィレス さあ、フォースタス、お前は俺に何をやって

もらいたいのだ？ 35

フォースタス 私が生きている間私に仕え、

フォースタスの命じることを遂行すること。

月を軌道から墜落させ、

大海原を溢れさせ、世界を水没させるようなことであってもだ。

メフィストフィレス 俺は大ルシファーの召し使いに過ぎず 40
彼の許しがなければ、お前の命に服することは出来ない。
彼の命じる事の他は我々は何も出来ないのだ。

フォースタス 私のところへ現れるよう命じたのは彼ではなかったのか？

メフィストフィレス いや、違う、自分の意志で来たのだ。

フォースタス 私の呪文がお前を呼び出したのではないのか？ 答えよ。 45

メフィストフィレス それが原因ではあった、しかし、来たのは
「偶然」によるのだ。

誰かが徒に神の名を用いたり、

聖書や救世主キリストを棄てると言うのを聞けば、

俺たちはその人間の気高い魂が手に入ると思い飛んで行くのだ。

その人間が自ら地獄に墮ちるような危険でも犯さない限り 50

俺達は来たりはしない。

だから、俺達を呼び出すもっとも近道は

断固として、三位一体の神を棄て

地獄の王に熱烈な祈りを捧げることだ。

フォースタス フォースタスはすでにそのように 55

やったのだ、私の信条は、

ベルゼバブ以外に

この身を捧げる主はいないということだ。

‘地獄墮ち’などという言葉を恐れたりはしない、

何故なら私は地獄こそ楽園であると考えからだ。 60

我が魂よ、古の哲学者と共にあれ！

ところで、人間の魂などと言うくだらないことは捨てておき、

教えてくれ、お前の主のルシファーとは一体何者なのだ？

メフィストフィレス あらゆる精霊の最高の統治者にして指揮者だ。

フォースタス ルシファーはかつては天使ではなかったのか？ 65

メフィストフィレス そうだ、フォースタス、神に最も愛された天使だった。

フォースタス それが地獄の王になったのは何故なのだ？

メフィストフィレス おお、止どまるところのない傲慢と不遜の故だ。

それ故神は至高の天から彼を地獄へ墮とされたのだ。

フォースタス ルシファーと共に暮らすお前たちは何者なのだ？ 70

メフィストフィレス ルシファーと共に地獄へ墮ち、

ルシファーと共に神に反逆を企み、

ルシファーと共に永遠に呪われた不幸な精霊。

フォースタス お前たちが呪われている場所はどこだ？

メフィストフィレス 地獄の中。

フォースタス ではどうして地獄から出て来たのだ？

75

メフィストフィレス ここそが地獄だ、俺は地獄から出てなどいない。

かつては神の顔を仰ぎ、

天上の永遠の喜びを味わっていた俺が

永劫不滅の祝福を奪われて

地獄の何万倍もの責め苦を受けていないと思うのか？

80

おお、フォースタス、こんなくだらない質問は止めてくれ

俺の弱い魂が恐怖でおののかされる。

フォースタス 何と、偉大なメフィストフィレスともあろう者が

天国の喜びを奪われたからとてこうも取り乱すとは？

このフォースタスから男らしい不屈の精神を学び取れ、

85

お前が決して味わうことの出来ない天上の喜びなど嘲ってやるがよい。

偉大なるルシファーのところへ行き伝えてくれ、

フォースタスがヨブの神の神性に対して不遜な考えを抱き、

永劫の死を招くに至った経緯をお前は見たのだから。

ルシファーがフォースタスに24年の歳月を猶予し、

90

官能の赴くままに生きることを認め、

その間お前を私に仕えさせ、

お前は何であろうと私の求めるものを私にもたらし、

何であろうと私が尋ねることには答え、

私の敵を殺し、私の友を助け、

95

常に私の意志に従順であるならば、

フォースタスの魂はルシファーに捧げる、と伝えてくれ、

行け、偉大なるルシファーの許へ戻れ、

真夜中に私の書斎で会おう、

そしてお前の主の意向を聞かせてくれ。

100

メフィストフィレス 承知した、フォースタス。

[退場]

フォースタス 私が星の数ほどの魂を持っていたとしても、

メフィストフィレスを手に入れるためにそのすべてを投げ出してもよい。
彼を使って私はこの世界の大帝王となり、
動く大気の中に橋を架け、
大軍団を引き連れて大洋を渡ってやろう。
アフリカの沿岸に連なる山々を一堂に会せしめ、
あの国をスペインの陸続きとなし、
それら両国に我が王冠への貢を献じさせよう。
皇帝といえども私の許可なく生きることはかなわず、
ドイツのいかなる権勢者と同様だ。
望むものを手に入れたからには、
私はこの魔術の研鑽に努め
メフィストフィレスが戻って来るのを待つことにしよう。

[退場]

第一幕、第四場

ワグナーと道化ロビン登場

ワグナー　おい、小僧、こっちへ来い。

ロビン　小僧だって！ 人の容姿を馬鹿にしやがって。畜生め、お前の目の前にいる俺様小僧だって！ お前さんはこんなとんがり髭を生やした小僧を随分と沢山見てきているんだろうね。

ワグナー　おい、お前の懐にはびた一文入ってこないのか？

ロビン　入ってきますよ、出る方も出ますがね、ご覧のとおりですよ。 5

ワグナー　ああ、哀れな奴！ 素寒貧の身では出てくる洒落まで貧弱なものだ。こいつは仕事にあぶれて腹を減らしているな、これなら、血の滴る生肉だとしても、羊の肩肉をくれると言ったら悪魔に魂を渡すくらいのはするだろう。

ロビン　とんでもない。言わしてもらいますが、そんな高い支払いをするんだったら、肉は十分に焙ってもらい、上等なソースをかけてもらいますよ。 10

ワグナー　おい、召し使いになってわたしに仕える気はないか、お前を「我が弟子」として扱ってやるがどうだ？

ロビン　何だって、詩の文句ですかい？

ワグナー そうではない、刺繍をした絹の服を着せ、ヒエン草をかけてやる
うというのだ。 15

ロビン ヒエン草？ 虱退治に良く効くやつだ。ていうことは、お前さんに
仕えるっていうことは、俺が虱だらけになるってことか。

ワグナー わたしに仕えようと仕えまいとお前はどうぞ虱だらけになるん
だ、いいか、お前がこの場で直ちに俺様に7年間奉公すると決めなければ、
お前にくっついている虱を一匹残らず小鬼に変えてお前の体を切り刻ませ 20
てやるからな。

ロビン いいや、そんなお骨折りをなさる必要などございませんよ、何とな
れば、虱の奴らは俺とはとっくに昵懇の間柄で、奴らは俺様に飲み食いの
代金を払っているっていうような態度でいまさあ。

ワグナー おい、駄洒落はそのくらいにして、この銀貨を取っておけ。

ロビン これは、これは、ありがとうございます。 25

ワグナー それでよし、じゃあ、今から1時間は用心していることだな。

いつだか、どこだか分からんが悪魔がお前を連れにくるからな。

ロビン ほら、銀貨をお返しするよ。こんなものは一文だっていらん。

ワグナー わたしはいらんよ。お前は契約を済ませたのだ。覚悟をしておけ。

わたしは直ちに二匹の悪魔を呼び出しお前を連れていかせる。パニオー！
ベルチャー！ 30

ロビン ベルチャーだって？ ベルチャー、来るなら来い、俺が息を吹きか
けて吹っとばしてやる。悪魔なんて怖くないぞ。

二悪魔登場

ワグナー さあ、どうだ？ これでわたしに仕える気になったか？

ロビン わかりましたよ、ワグナーの旦那、悪魔をどっかへ連れて行って
くださいよ。

ワグナー 精霊たち、退散しろ！ さあ、わたしについて来い。 35

[二悪魔退場]

ロビン 分かりました。ですが旦那、俺にもこの悪魔を呼び出す商売を教え
てくださいよ。

ワグナー いいとも。お前が犬や、猫や、二十日鼠や、大鼠、その他何にで
も姿を変えられる術を教えてやるよ。

ロビン　犬でも、猫でも、二十日鼠でも、大鼠でもですって！　おお、
ワグナーの旦那！　40

ワグナー　馬鹿者、ワグナー先生と呼べ、歩き方にも注意しろ、そしてお前
の右の目を常に直線的にわたしの左の踵に据えておくのだぞ、
「我が足跡を踏むが如くに」だ。

ロビン　分かりました。その通りにいたします。

[二人退場]

第二幕、第一場

フォースタス、書齋に登場

フォースタス　かくなるうへは、フォースタス、お前は地獄へ墮ちねば
ならぬ、

救われる道はない。

ならば、神や天国のことを考えても何になる？

そのような空しい空想は捨て、諦めよ、

神のことは諦めて、ベルゼバブを信ぜよ。

5

もはや後戻りはするまい、フォースタス、決意を固めよ。

何故揺れ動いていたのだ？　私の耳の中で何かが囁やいている、
‘魔術を棄て、神の元へ戻れ’と。

そうだ、フォースタスは再び神の許へ戻ろう！

神の許へ？　神はお前を愛してはいない。

10

お前が仕える神はお前自身の欲望だ、

そこにこそベルゼバブの愛が揺るぎなく存在するのだ。

ベルゼバブのために私は祭壇と教会を築き、

そこに生まればかりの嬰兒の生暖かい血を捧げよう。

二天使登場

悪天使　進め、フォースタス、誉れ高い術に向かって進むのだ。

15

善天使　愛するフォースタスよ、あの忌まわしい術を捨てなさい。

フォースタス　悔恨、祈り、良心の呵責—それが一体何だというのだ？

善天使 おお、それらがお前を天国へ導く手だてとなるのだ。

悪天使 そんなものは妄想だ、狂気の産み出す果実なのだ、
そんなものにつつを抜かす者を白痴にするだけだ。

20

善天使 愛するフォースタスよ、天国とその崇高なるもののことを思い

なさい。

悪天使 いや、フォースタス、名誉と富を思え。

[天使たち退場]

フォースタス 富？ そうだ、エムデン公の領土を私のものにしてやろう。

メフィストフィレスが私の側にいる限り、

いかなる力が私に危害を加えることが出来るというのだ？ フォースタス、

お前は安全なのだ。 25

疑うことは止めよう。メフィストフィレス、出て来てくれ

偉大なルシファーからの良き知らせを持って来てくれ。

真夜中ではないのか？ 来い、メフィストフィレス。

「来れ、来れ、メフィストフィーレ。」

メフィストフィレス登場

さあ言ってくれ、お前の主ルシファーは何と言ったのだ？

30

メフィストフィレス フォースタスが生きている間、俺を仕えさせる、

そしてフォースタスは俺の奉仕を自らの魂によって贖うのだ。

フォースタス フォースタスはすでにお前に委ねたはずだ。

メフィストフィレス しかし今度はそれを正式に遺贈し

お前自身の血で譲渡証明書を書かねばならない、

35

そういう保証をルシファーは望んでいるのだ。

お前が拒めば、俺は地獄へ戻らねばならない。

フォースタス 待ってくれ！ 私の魂がお前の主に

どんな利益を齎すというのだ。

メフィストフィレス 彼の王国が広がるのだ。

フォースタス 彼が我々をこのように誘う理由は何なのか？

40

メフィストフィレス 「悲しみの中にある者にとっての慰めは共に

悲しむ者のいること。」

フォースタス 人間を苦しめ苛むお前たちにも苦痛があるというのか？

メフィストフィレス 人間の魂が持っているのと同じくらい大きな苦しみがあるのだ。

だが、フォースタス、どうなのだ、お前の魂をもらえるのだな？

そうすればわたしはお前の奴隷となり、お前に仕え、
お前が求めている以上のこと教えてやろう。 45

フォースタス いいとも、メフィストフィレス、ルシファーに私の魂を
与えよう。

メフィストフィレス では、フォースタス、勇気を奮い、お前の腕を刺し、
お前の魂を売る契約書を作るのだ、定めの日が来たら
偉大なルシファーがお前の魂の所有権を主張できるように、 50
そうなれば、お前もルシファー同様偉大になれるのだ。

フォースタス [自らの腕を刺す] 見よ、メフィストフィレス、お前へ
の愛故に、

私は腕を刺し、私の自身のこの血によって

永劫の夜の君主であり支配者である

偉大なるルシファーに私の魂を譲ることを確約するぞ。 55

私の腕から滴るこの血を見よ、

この血によって私の願いを適えしめよ。

メフィストフィレス しかし、フォースタス、
譲渡証書の形式に則って書いて頂きたい。

フォースタス よろしい、そうしよう。[書く] だが、メフィストフィレス、 60
わたしの血が凝固してしまった、これ以上書くことが出来ない。

メフィストフィレス 火を持って来て直ぐに溶かしてやろう。

[退場]

フォースタス 私の血が固まってしまったのは何の前兆なのだろう？

この証書を書くのを嫌がっているのだろうか？

何故流れないのだろうか？ これでは新たに書くことも出来ない。 65

「フォースタスはその魂を汝に与える。」 ああ、また止まってしまった。

何故流れないのだ？ お前の魂はお前のものではないか？

もう一度書いてみよう、「フォースタスはその魂を汝に与える。」

メフィストフィレス、火皿を持って登場

メフィストフィレス さあ、フォースタス、火を持って来た、血をこの
上にかざすがよい。

フォースタス なるほど、血が再び澄んできた。 70

早速書き上げてしまおう。[書く]

メフィストフィレス この男の魂を手に入れるためならどんなことでも
やってやる。[傍白]

フォースタス 「完了せり」、証書は出来た、
これでフォースタスは魂をルシファーに譲渡した。

だが、私の腕に彫られた文字は一体何なのだ？ 75

「人間よ、逃れよ！」だと、だがどこへ逃ればよいのだ？

神のところへ逃げれば、神は私を地獄へ投げ落とすだろう。

感覚の惑いだったのか、何も書いてないではないか。

おお、書いてあるぞ、はっきり見える。ここに書いてある

「人間よ、逃れよ！」と、だがフォースタスは逃げはしないぞ。 80

メフィストフィレス この男の心を楽しませるものを何か持ってきてやろう。

[傍白]

[退場]

悪魔たち登場。フォースタスに王冠と豪華な衣服を与え、
踊り、やがて退場。メフィストフィレス登場

フォースタス この見世物はどういう意味なのだ？ 言ってみろ、
メフィストフィレス。

メフィストフィレス 特別な意味はありませんよ、フォースタス、
あなたの心を楽しませ、
魔術で何が出来るかを知ってもらいたかっただけのこと。

フォースタス 私も好きな時にこういった精霊たちを呼び出せるのだろうか？ 85

メフィストフィレス そうだとも、フォースタス、あれよりも
もっと凄いことだってね。

フォースタス それでは、メフィストフィレス、この証書を受け取ってくれ、
肉体と魂の譲渡証書だ、

だが、条件として、我々双方間の一切の契約条項を

お前は履行しなければならない。 90

メフィストフィレス　フォースタス、俺は地獄とルシファーにかけて誓う
双方間の契約の一切を実行すると。

フォースタス　では、これを読むから聞いてくれ、メフィストフィレス。

以下の条件に基づいて

第一、フォースタスは姿と実体において精霊になり得る。 95

第二、メフィストフィレスは彼の召し使いとなり、
その命に従うこと。

第三、メフィストフィレスは彼のために、いかなることをも実行し、
またいかなる物でももたらすこと。

第四、メフィストフィレスは彼の居室または家屋内においてその姿を
見せざること。 100

第五、メフィストフィレスはいかなる時にも、前記ジョン・フォースタスの
好む形、姿にて彼の前に現れること。

余、ウィッテンベルヒのジョン・フォースタス博士は当証書に記した条件
により、その肉体と魂を東方の君主ルシファー及びその代理人メフィスト
フィレスに与え、 105

更に、24年の歳月が過ぎ、前記の条項が遺憾なく実行された際には、
前記ジョン・フォースタスの肉体、魂、肉、血及び財産を、いずこである
にせよ、両人の居住地へ移すことを認めるものとする。

本人、ジョン・フォースタス。

メフィストフィレス　いいんだね、フォースタス、これをあんたの証書
として渡すんだね？ 110

フォースタス　そうだ、受け取れ、悪魔もお前を褒めるてくれるだろう。

メフィストフィレス　では、フォースタス、なんなりと尋ねてくれ。

フォースタス　先ず第一に、地獄について尋ねたい。

人間が地獄と呼んでいるところはどこにあるのだ？

メフィストフィレス　天空の下に。 115

フォースタス　それはそうだ、他のすべてのものがそこにあるのだから。

だが、どの辺りなのだ？

メフィストフィレス　四大元素の内部、

我々が苦しめられ、しかも永遠に留どまるところ。

地獄に境界はなく、それ自身一定の場所に限定されることもなく、

我々の居るところが即ち地獄だ、120
 地獄のあるところ即ち我々の永劫の住まいだ。
 つまり、全世界が崩壊し、
 すべての生き物が浄められた時、
 天国でないところは総て地獄となるのだ。

フォースタス 地獄などはお伽話にすぎないと私は思っている。125

メフィストフィレス では、そう考えていればよい、経験がお前の考えを
 変えるまでは。

フォースタス お前は本当にフォースタスが地獄に墮ちると思っているのか？

メフィストフィレス 当然だ、ここに証文がある

この中でお前は自分の魂をルシファーに与えると記しているのだ。

フォースタス その通りだ、そして肉体もだ。だがそれが何だと言うのだ？130

この生命が終わった後にも苦痛があるなどと思う程

このフォースタスが愚かだと思うのか？

そうとも、そんなことは下らんことだ、年寄り女の戯れ言だ。

メフィストフィレス だが、真実はその逆だという実例を見せているのが
 この俺だ、
 いいか、この俺は呪われて、今現在地獄にいるのだから。135

フォースタス いや、もしこれが地獄だと言うのなら、私は喜んで
 地獄落ちになってやろう。

何だと言うのだ？ 眠ったり、食べたり、歩いたり、議論をしたりして
 いるだけではないか？

だが、こんな話はよして、私に妻を持たせてくれないか、

ドイツの美しい娘をな、

私は淫らで好色だから、140

妻なしでは生きていけないのだ。

メフィストフィレス 頼む、フォースタス、妻のことは言うな。

フォースタス いや、メフィストフィレス、お願いだ、妻を連れて来てくれ、
 是非とも妻が欲しいのだ。

メフィストフィレス よかろう、フォースタス、妻を持たせてやろう。

俺が戻るまでここで待っていてくれ。[退場] 145

メフィストフィレス、花火と共に、女を装った悪魔を連れて登場

フォースタス　これは一体何だ？

メフィストフィレス　さあどうだ、フォースタス、お前の奥さんにどうだ？

フォースタス　これは熱、熱あつの売春婦あつじゃないか。もう妻はいらん。

メフィストフィレス　結婚なんてただの儀式に過ぎない、

お前が俺に好意をもってくれるら、結婚のことはもう考えないで欲しい。 150

商売女の中でも飛び切り上等なのを選びすぐって

毎朝お前の寢床へ連れて行ってやろう。

お前の目にとまったのがいたら、惚れればいい、

たとえそれがペネロピのような操正しい女であろうとも、

サバのような賢い女だろうとも、また地獄へ墮ちる前の 155

輝かしいルシファーのような女であろうとも。

さあ、この本を受け取れ、じっくり読んでくれ。

これらの行を繰り返し読めば黄金が出てくる、

地面にこういう円を描けば

雷鳴、旋風、嵐や稲妻が起こってくる。 160

これを三回一心に唱えれば、

甲冑をまとった兵たちがお前の前に現れ、

お前の命じることを何でも実行してくれる。

フォースタス　メフィストフィレス、この素晴らしい本をありがとう。

自分の生命同様大切に持っていることにしよう。 165

[二人退場]

第二幕、第二場

フォースタスとメフィストフィレス、フォースタスの書齋に登場

フォースタス　天を仰ぎ見ると私は後悔の念にかられる

そしてお前が呪わしくなる、邪悪なメフィストフィレス、

お前が私から天上の喜びを奪ったのだから。

メフィストフィレス　お前自身が望んだことだ、フォースタス、自分に

感謝すればよいのだ。

だが、お前は天国がそれ程輝かしい所だと思っているのか？ 5

いいか、フォースタス、天国なんて所はお前や、

この地上で息をしているどの人間の半分も美しくはないのだ。

フォースタス それをお前は どうやって証明できるのだ？

メフィストフィレス 天国は人間のために造られたのだ、だから

人間の方が優れているのだ。

フォースタス もし天国が人間のために造られたというのなら、

私のためにも造られているはずだ。 10

私はこの魔術を止め、悔い改めよう。

二天使登場

善天使 フォースタス、悔い改めよ、まだ神はお前を哀れんでおられる。

悪天使 お前は精霊なのだ、神はお前を哀れむことは出来ない。

フォースタス 私の耳の中で私が精霊だとつぶやいているのは誰だ

たとえ私が悪魔だとしても、神は私を哀れまれるだろう、 15

そうだと、私が悔い改めるなら神は私を哀れんで下さるだろう。

悪天使 その通りだ、だがフォースタスは決して悔い改めはしない。

[天使たち退場]

フォースタス 私の心は堅くなってしまった、悔い改めることが出来ない。

救い、信仰、天国という言葉をお口にすると、

耳の中で恐ろしい音が鳴り響く。 20

「フォースタス、お前は地獄へ墮ちるのだ！」と。そして剣やナイフ、

毒薬、銃、絞首索や毒を塗った刃が

自殺をしろと言わぬばかりに、私の前に置かれるのだ。

甘い快楽に、深い絶望を押し込まれたりしなかったなら

こうなるずっと以前に自ら生命を断つべきだったのだ。 25

盲目の詩人ホメロスに、アレクサンドロスの恋、

オイノネの死について吟じさせはしなかったか？

テーベの城壁を築いたというアンフィオンに

聴く者の心を魅惑する美しい堅琴で

メフィストフィレスと合奏させたことがなかったというのか？ 30

では何故私が死んだり、卑しく絶望しなければならぬのか？

心を決めたぞ、フォースタスは悔い改めたりしはしない。

さあ、メフィストフィレス、もう一度議論を交わそう、

そして、神聖な天文学について論じよう。

答えてくれ、月の上層にも多くの天球層があるのか？

35

宇宙の中心にあるこの地球と同じ物質から成り

すべての天体は一つの球体から成っているのか？

メフィストフィレス 四元素と同様、すべての天体も

月から最高天に至る迄、

それぞれが互いの天球層の中に包含され、

40

一つの軸の周りを手を取り合って動いており、

この軸の最端が宇宙の広極と呼ばれている。

土星、金星、水星の名称も

徒に付けられたものではない、遊星の類いは別として。

フォースタス

だが、それらは

すべて「空間的にも時間的にも同じ運行をしているのではないのか？

45

メフィストフィレス すべての天体は東から西へ24時間かかって宇宙の

両極の上を動いて行くが、それぞれの動きは黄道帯の軸の上では異なっている。

フォースタス そんなつまらぬ問題ならワグナーでも答えられる。

メフィストフィレスにそれ以上の知恵はないのか？

50

惑星の二重の運行を知らない奴などいるものか。

第一の運行は自然の一日で完了し、

第二の運行はかくの如し、土星は30年、

木星は12年、火星は4年、太陽、金星、水星は1年、そして月は28日。

こんなことは新入生でも推測出来ることだ。だが、教えてくれ、どの天球層にもそれを支配している主天使、或は知天使がいるのだろうか？

メフィストフィレス そうだ。

フォースタス いくつの天、或は天球層があるのだ？

メフィストフィレス 九つ。七つの惑星、恒星、

そして最高天だ。

60

フォースタス では、「火焰天、透明天」はないのか？

メフィストフィレス ないのだ、フォースタス、そんなものはお伽ぎ話

に過ぎない。

フォースタス だが、この一問には答えてくれ、惑星の合、衝、相、蝕が何故一時に起こらないのか、しかも或る年には多く、或る年には少ないのは

何故なのだ？

65

メフィストフィレス 「宇宙全体においてそれぞれの天体の運行速度が
同じからざる故」にだ。

フォースタス よろしい、分かった。では教えてくれ、この世界を
造ったのは誰なのだ？

メフィストフィレス 答えたくない。

フォースタス メフィストフィレス、どうか答えてくれ。

メフィストフィレス 俺を怒らせないでくれ、フォースタス。 70

フォースタス 悪党め、何事にも答えると約束したのではなかったか？

メフィストフィレス そうだ、我々の王国に背かないことなら何でもだ。

この問いは正にそれだ。お前は地獄へ墮ちるのだ。地獄のことを考えよ。

フォースタス フォースタスよ、世界を造った神のことを考えよ。

メフィストフィレス 覚えているがいい。 75

[退場]

フォースタス いいとも、呪われた精霊め、卑しい地獄へ行くがいい。

苦しみ悩んでいた私の魂を地獄へ墮としたのはお前だ。

まだ遅すぎはしないだろうか？

二天使登場

悪天使 もう遅い。

善天使 まだ遅過ぎはしない、フォースタスが悔い改めさえすれば。 80

悪天使 悔い改めたりすれば、悪魔たちがお前を引き裂くぞ。

善天使 悔い改めよ、悪魔たちはお前の皮膚を傷付けたり出来はしない。

[二天使退場]

フォースタス おお、キリストよ、我が救い主よ、我が救い主よ。

フォースタスの苦しみ悩む魂をお救い下さい。

ルシファー、ベルゼバブ、メフィストフィレス登場

ルシファー キリストはお前の魂を救うことは出来ない、彼は正しい方

だから。 85

お前の魂を救うことに関心を持つのは私のみだ。

フォースタス おお、そのような恐ろしい顔をしているお前は誰だ？

ルシファー 私はルシファーだ。

ここにいるのは私の友で地獄の王だ。

フォースタス おお、フォースタス、彼らはお前の魂を取りに来たのだ。 90

ベルゼバブ 我々はお前が我々に損害を与えたので、そのことを告げに
来たのだ。

ルシファー お前は約束に反してキリストを呼んだ。

ベルゼバブ お前は神のことを考えてはならないのだ。

ルシファー 悪魔のことを考えよ。

ベルゼバブ そして悪魔のお袋のことを。 95

フォースタス 今後はそんなことはしない。今度のことは許して欲しい、

フォースタスは二度と天を仰がないと誓う、

神の名を口にしたり、神に祈ったりしない、

聖書を焼き捨て、聖職者を殺し、

私に仕える精霊たちに神の教会を覆させる。 100

ルシファー それでこそ我々の従順な僕であることの証しだ、

我々も大いに嘉するであろう。

ベルゼバブ フォースタス、我々はお前に楽しいものを見せてやろうと地獄
からやって来たのだ。座って、七大罪がそれぞれ本来の姿で現れるのを見
るがよい。 105

フォースタス そういう見世物は大いに楽しいものであろう、神によって創
造された日の楽園がアダムにとって素晴らしく見えたように。

ルシファー 楽園とか天地創造とかについて語ってはならない、見世物を見
よ。さあ、メフィストフィレス、彼らを連れて来い。

[メフィストフィレス退場]

笛吹きに導かれ、七大罪、メフィストフィレス登場

ベルゼバブ さあ、フォースタス、この連中にそれぞれの名前や性質を尋ね 110
てみる。

フォースタス 早速やってみよう。最初の者、お前は何者だ？

傲慢 傲慢だ。両親がいることも潔しとしない者だ。俺はオウディウスの蚤
のように、娘っ子の体の隅々にまで這い込むことが出来る。時には鬚のよ

うに額の上にも載ったりする。また或る時には首飾りみたいに、首にぶら
下ったりする。また或る時には、羽根扇のように、唇に口づけもするし、
時には刺繍を施した肌着に化けて思うままのことをする。だが、何だ、こ
れは、この臭いは何だ！ 床に香水を撒き散らし、アラス織りの絨毯でも
敷いて貰わなければ、もう一言もしゃべる気がしない。

フォースタス まったく、お前は傲慢な奴だ。 120

お前は何者だ、二番目？

貪欲 俺は貪欲だ、老いぼれのけちん坊の子として革袋の中で生まれた。

この家も、お前たちもすべてを黄金に変えてしまい、函の中に入れ、鍵を
掛けてしまいたいというのが俺の当面の願ひさ。

おお、我が愛する黄金よ！ 125

フォースタス 三番目、お前は何だ？

嫉妬 わたしは嫉妬、煙突掃除夫と牡蛎売り女との間に生まれたのさ。字が
読めないから、本なんてものはみんな焼かれてしまえばいいと思ってい
るんだ。他人が食べているのを見るだけで痩せてしまうんだ。おお、世界
中に飢饉がやってきて、みんな死んで、わたしだけが生き残ればいい、そう
すればこっちはしっかり肥えられるんだがね。だけど、お前が座っている
のに、どうしてわたしが立っていなけりゃならないんだ？ お前なんか罰
を受ければいいんだ。

フォースタス 出て行け、やきもち焼きの恥知らずめ！ 四番目、
お前は何だ？

憤怒 憤怒だ。俺には父親も母親もない。生まれて一時間も経たない内に
ライオンの口から飛び出してきたのだ、それ以来この細身の剣の入った 135
函を持って世界中を駆け巡っている。闘う相手がいない時には我と我が
身を傷付けながら。俺は地獄で生まれた、お前さんたちの誰かが俺の父
親ってことになる。

フォースタス で、五番目、お前は誰だ？

大食 わたしは大食だ。両親は死んでしまった、僅かな金を残してくれたが 140
ささやかな食いぶちにしかならない。一日に30回の食事と10回の間食代
にはなったが、空腹を満たすには足りはせん。わたしは高貴な家柄の生まれ
で、父親は豚の脇腹肉製のベーコン、母親はクラレット・ワインの大樽。
祖父たちの内一人はピーター・ピックルドーヘリングといい、塩漬ニシン
で、もう一人はマーティン・マートルマスービーフといい、聖マーティン 145

祭の牛肉で、名付け母親は、おお、愉快的貴夫人で、市町村の立派な人たちに愛されていたが、その名はマージェリー・マーチピア、三月のビールって言うんだ。さあ、フォースタス、わたしの親族のことはすっかり話したのだから、夕食に招いて下さらんか？

フォースタス お断りだ、我が家の食べ物を食い尽くされてしまう。 150

大食 それじゃあ、悪魔に首を絞められでもすればいい。

フォースタス 自分で自分の首を絞めればいい、大食漢め。六番目、
お前は何だ？

怠惰 やあ、やあ、私は怠惰だ。日当たりの良い土手で生まれ、それからずっとその場所に寝そべっていたんだ、こんなところへ連れ出すなんて、ひどいことをするものだ。大食と好色に言い付けて元の所へ運んで 155
もらってくれ。ハイ ホー！ 王様の身代をもらったってもう一言も話さないぞ。

フォースタス 第七番目で最後の、お嬢さん、お前は何者？

好色 誰？ わたしのこと？ わたしは長い干し鰯の揚げたのより、1インチしかなくても生の羊肉の方が好きなの。わたしの名前の最初の字は「好 160
き」っていうんだもの。

ルシファー 地獄へ行ってしまうえ！ 行ってしまうえ！ 笛吹き、吹いてくれ！
[七大罪と笛吹き退場]

フォースタス おお、本当にこの見世物は私の魂を楽しませてくれた！

ルシファー だが、フォースタス、地獄にはあらゆる楽しみがあるのだぞ。

フォースタス ああ、地獄を見物し、無事に帰れたなら、どんなに幸せ 165
なことか！

ルシファー フォースタス、出来るとも。真夜中にお前を迎えによこす。
その間、この本をよく読んでおけ、そうすればお前はお前の望む
ままに姿を変えることが出来る。

フォースタス ありがとう、偉大なルシファーよ。 170

この本は生命と同じように大切にしておこう。

ルシファー では、フォースタス、さらば。

フォースタス さらば、偉大なルシファー。来い、メフィストフィレス。
[それぞれに分かれて全員退場]

道化ロビン、一冊の本を持って登場

ロビン　　オイ、ディック、俺が戻るまで馬の番をしていてくれ。俺はフォースタス博士の魔術の本を一冊手に入れたんだ、人様をあっと言わせるような戯れ事をやってみようじゃないか。

ディック登場

ディック　　おい、ロビン、こっちへ来て馬を歩かせなきゃいかんよ。

ロビン　　俺が馬を歩かせるだって？ 笑わせるなよ、全く。おれにはやらなきゃならん仕事があるんだぜ。馬は勝手に歩かせておけばいい、ちゃんとやってくれるよ。 5

[読む]　　Aは「そのまま」で「ア」、t, h, e, で「ザ」、oは「そのまま」で「おお」、「デニ・オウゴン、ゴオゴン」。
俺から離れているんだ、ああ、お前は字も読めない、無学な馬丁なんだから。

ディック　　一体全体、お前がもっているのは何なんだ？ 本か？ お前そこに書いてある字を一つだって読めやしないだろう。 10

ロビン　　そうかどうか直ぐに見せてやるよ。その円から離れているよ、いいか、さもないとお前を既の中まで吹っ飛ばしてやるからな。

ディック　　確かに、やりそうなことだな。そんな馬鹿気たことは止めた方がいいぜ。旦那が来たら、呪文をかけて脅されるぜ。

ロビン　　旦那が俺に呪文をかけるだって？ いいか、旦那がここへ来たら、お前が見たこともないような立派な角を一對、旦那の額につけてやるからな。 15

ディック　　そんなことはやらなくていいよ、お上さんがもうやっているからな。

ロビン　　そうだな、白状する段になりゃあ、ここにいる俺たちの中にも他の男たち同様、深みにはまり込んだってのがね。 20

ディック　　くわばら、くわばら！ お前が用もないのにお上さんの後をこそそそ付け回していると思っていたよ。けど、教えてくれよ、真面目な話、それは魔術の本なのか？

ロビン　　俺にしてもらいたいことがあれば何でも言ってみな、叶えてやるから。裸になって踊りたいっていうんなら、言ってみな、俺が直ぐに呪文を 25

かけて脱がせてやるから。俺と一緒に飲み屋に行きたいっていうんなら、白ワイン、赤ワイン、クラレットワイン、サック酒、マスカディン、マルメゼーにウィッピンクラスト、何でもござれだ。腹一杯飲ませてやるよ、
たっぷり飲んでびた一文も払うことはないぜ。

ディック そいつは凄え！ 早速行くとしよう、犬みてえに喉が乾いて
いるんだ。

ロビン それじゃあ、出掛けようぜ。

30

[二人退場]

使用テキスト: The Complete Plays of Christopher Marlowe Edited with an Introduction and Notes by IRVING RIBNER(The Odyssey Press Inc. New York)

【注】

登場人物 *は訳者付記

プロローグ

line.2. トラシメヌス 紀元前217年、カルタゴ軍を率いたハンニバルはトラシメヌス湖畔でローマ軍に大勝した。

第一幕第一場

ト書き 恐らくコーラスの語り手が内舞台のカーテンを引きフォースタスを、紹介する設定であろう。

7. この引用文はフランスの人文学者ペトルス・ラムスの「弁証論」中の一節。マローは在学中のケンブリッジ大学においてこの論に接したとみられる。

原文 Bene disserere est finis logices

12. On cay mae on アリストテレスの「存在と非存在」

ガレン ギリシャ人の哲学者、医学者。中世時代を通じ西洋医学の祖といわれた。

13. ubi desinit philosophus ibi incipit medicus

16. Summum bonum medicinae sanitas

27. ユスティニアヌス 中世時代における著名な法学者であるコンスタンチノーブルのユスティニアヌス皇帝 (527-565) の「ユスティニアヌスの法典」(ローマ法全書)。

28-29. Si una eademque res legatus duobus, / Alter rem, alter valorem rei, etc.

「ユスティニアヌス法典」の一節の誤った解釈。

31. Exhaereditare filium non potest pater nisi--

38. 「ヒエロニムスの聖典」聖ヒエロニムスによって完成されたラテン語訳聖書、『ウルガタ』

39. Stipendium peccati mors est. 『ロマ書』VI.23.

41-42. Si peccasse negamus, fallimur / Et nulla st in nobis veritas. 『ヨハネ伝』I.8.

90. ウィッテンベルヒを流れているのは実際にはライン川ではなく、エルベ川。

94. バルマ公 北海沿岸の低地帯を統治したスペイン軍の指揮官。

95. 全国土 ネーデルランド地方。

97. 1584年4月、バルマ公がアントワープ閉鎖のためにシェルツ川に架けた橋を、アントワープの住民が火薬を仕掛けた船を用いて爆破した。
115. ムサイオス 「ヒーローとリアンダー」にも出てくるギリシャの伝説上の詩人。マローはウェルギリウスに倣い、オルベウス同様に地獄を訪れさせている。
119. アグリッパ コーネリアス・アグリッパ (1486?-1535) ドイツの医者、オカルトの研究者。死者の中から精霊を呼び起こす力を持っていたと言われる。
143. デルフィス デエルポスの神殿に仕える聖職者、神託を告げた。
155. ベイコンとアバノス ロジャー・ベイコン (1214?-1294) と、ピエトロ・ド・アバノス (1250-1316) は共に中世において魔術師として知られていた。

第一幕第二場

1. sic probo スコラ哲学における常用語。
15. corpus naturale スコラ哲学の用語では Corpus naturale seu mobile

第一幕第三場

46. per accidens スコラ哲学用語。

第一幕第四場

13. Qui mihi discipulus ウィリアム・リリーのラテン詩の冒頭の一節、エリザベス時代の生徒たちには周知の句。

第二幕第一場

23. エムデン エムズ川の河口に近い、東フリースランドの主要な町、エリザベス時代の英国とかなりの交易があった。
73. 『ヨハネ伝』 XIX.30.
154. ペネロピ ホメロスの『オデュッセウス』中のユリシーズの貞節な妻。
155. サバ シバの女王。

第二幕第二場

13. 精霊 悪魔。フォースタスの魂は背教によってすでに地獄に墮ちていることを示す。
26. アレクサンドロス、或はパリスは、イダ山において羊飼いをしていた折に、ニンフ、オイノネに恋をした。パリスに去られたオイノネは失恋の痛手のために死ぬ。(ホメロスの『イリアッド』)
28-29. ゼウスとアンテオベの息子、アンフィオンがヘルメスに贈られた豎琴を奏でると石がひとりだけで動き、テバイの城壁が完成した。
56. 主天使、或いは知天使 主天使 (ドミニオン)、知天使 (インテリジェンス) は天球層を支配する天使。
61. プトレオマイオスの天文学においては最高天と天球層の中に火の燃えている、もしくは透明な天球層があると考えられていた。
66. Per inaequalem motum respectu totius.
113-114. 'Carmines de Pulice' (「蚤の歌」) という中世の詩は一般にオウィディウスの作と考えられていた。
118. アラス織り フランドル産のタピストリー用の布。
147. 三月のビール 良酒。春に造られ、熟成するまで二年間は飲まない。
160. 生の羊肉 淫らな女の俗称。

第二幕第三場

16. 角 通常、「寝取られ亭主」の印。